



南部町立南部中学校 学校だより R8第9号

城山の風

令和8年9月7日(月)

校長 樋口 信也

交通安全・防犯弁論大会

9月3日(木)、本校を会場に「南部警察署管内中学生交通安全・防犯弁論大会」が開催されました。南部中、身延中、早川中から代表者が出場し、交通安全や防犯を訴えました。交通安全については論旨はそれぞれでしたが、防犯についてはSNSに関わることが多く、SNSが絡んだ犯罪は中学生にとって他人事ではないということを改めて感じました。

本校からは、交通安全の部に原田凌太郎さんと四條星夕さんが、防犯の部に永富昂輝さんと望月煌さんが出場しました。結果は、四條星夕さんが最優秀賞、望月煌さんが優秀賞、原田凌太郎さんと永富昂輝さんが努力賞でした。四條星夕さんは、10月28日に開かれる県大会に出場することになります。



輝城祭の成功に向けて

—第16回輝城祭 テーマは「開花」—

12日(土)に行う第16回輝城祭のテーマは「開花」です。これには、輝城祭を通して一人一人が自分の可能性や個性を大きく咲かせてほしいという願いが込められています。

輝城祭まで1週間を切りました。どの学年・部門も一生懸命に練習や準備をしています。輝城祭の取組を通して身につけたい力は一人一人違いますが、第16回輝城祭を成功させたいという気持ちは皆一緒です。演劇、ソーラン節、全校製作、吹奏楽発表など、どれも仕上げに向けていよいよ大詰めとなっていきます。生徒会最大行事に取り組んでいるので苦しいこともあります。それを乗り越えることによって自分の中に何かしらの花が咲くのだと思います。がんばれ南中生。



保存会の方の指導の下、稽古に励む1年生



生徒の監督による2年生演劇



ステージで位置決めをする吹奏楽部



花を作る展示・装飾・全校制作部門



美術文芸部の作品に見入る生徒



卒業生の指導の下、ソーラン節に取り組む3年生

輝城祭取組期間の特別日課でもしっかり勉強

輝城祭取組期間で、学校全体に普段とは違う特別な雰囲気が流れています。このようなときは、とすると落ち着きがなくなり、日常のことがいい加減になりがちです。しかし、授業の様子を見て回ると、普段と変わりなく落ち着いた様子で意欲的に勉強しています。先生たちも、生徒が積極的に発言するような発問をしたり、机間巡視をして一人一人に丁寧に教えたりしています。そして、放課後は、先生も生徒も輝城祭の取組に全集中しています。こういう切り替えができるところが、今の南部中の良さの一つだと思います。